

# 八頭郡若手生産者の御紹介



⑤ 岡崎昭都さん



⑥ 丸山翔吾さん



② 小谷拓郎さん



④ 加藤靖広さん



③ 前田修作さん



⑦ 古谷浩平・葉子さん



⑨ 藤原康生さん



① 國岡智志・由香里さん



⑧ 吉田篤史・香織さん



くにおかさとし ゆかり  
**国岡智志さん・由香里さん**

～地域の農地を守りたい。「食を守る」  
 仕事として誇りを持ちながら～

**経営体の概要**

- 経営面積：水稲700a、作業受託のべ548a、アスパラガス15a、ブルーベリー19a
- 労働力：3人(夫婦＋家族)



**経緯・背景**

父親が農業をしていましたが、地元で農業を辞める人が増え、管理する農地が増えたことから、智志氏、由香里氏も作業を手伝うようになりました。平成28年に由香里氏が親元就農支援事業を活用して本格的に経営に参画。その後、智志氏も参画しました。



直売所に並ぶ国岡さんのお米

平成31年から特別栽培米に取組み、米の直販を開始しました。

**経営のポイント**

地域の農地を守るため耕作放棄地防止のため、規模拡大を進めています。おいしい智頭米の生産拡大とPRを進めています。販売先は市内の直売所や飲食店が中心です。

**今後の目標**

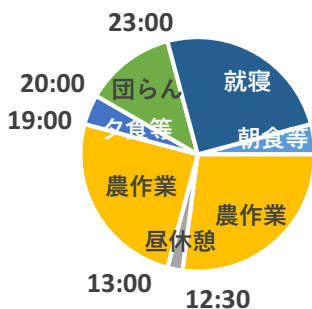
新たに乾燥調製施設や機器を導入し、適期作業による食味の高い智頭米の生産拡大を進めていきます。

年間スケジュール（主な品目）

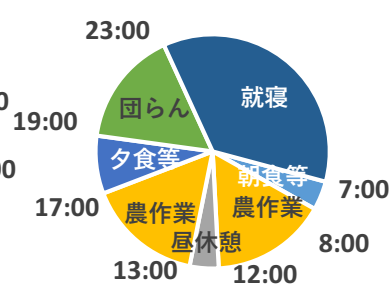
種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
水稲				播種・育苗	田植	水管理・防除・畦畔草刈り			刈取・乾燥・調製			
	調製・出荷・配達											
作業受託				耕耘・代かき					刈取・乾燥・調製			

国岡さんの一日

< 農繁期 >



< 農閑期 >



**農業をめざす皆さん  
 へのメッセージ**

自分が作った作物を美味しいと言ってもらえる喜びは格別です。成功も失敗も自分の責任ですが、誰に指示されることなく自然に触れながら汗をかく気持ちよさは最高です。生産から出荷、販路の開拓など自分の考えで決めていくことが出来るビジネスは外にないと思います。「食は生命」食を守る仕事として誇りを持ってください。チャンスをつかんで！

## 小谷拓郎さん

【営農類型：野菜（大根+白ネギ）】

～夏は大根、冬はスノボに  
全力投球！～

### 経営体の概要

大根：400 a 白ネギ：30 a  
労働力：3人 (本人+家族2人)



### 経緯・背景

祖父の代に広留野を開拓し、昭和40年頃から大根栽培を開始。拓郎さんで三代目。学生時代は長野のスノーボードの専門学校に通っていましたが、夏に実家の農業を手伝っていたことから、冬はスキー場で働き、それ以外の時期は農業をすることにしました。

### 経営のポイント

広留野で栽培している大根を経営の柱とし、大根と収穫作業が重ならないように白ネギを栽培しています。冬には、自身はスキー場で働き、両親が白ネギの出荷調製を行っています。

### 今後の目標

今後は白ネギの面積を減らしていき、大根に集約していく予定。鳥取県のスキー場は期間が限られるので、将来的には冬～春に長野のスキー場で働き、夏に広留野で大根を栽培したいと考えています。



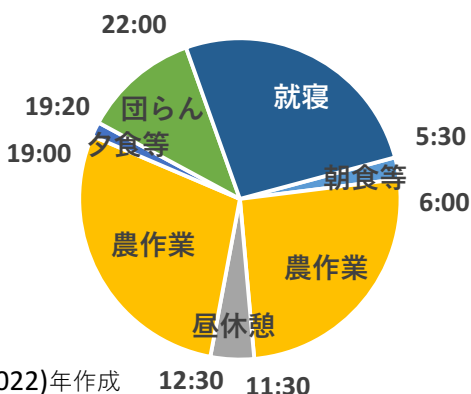
白ネギ収穫作業中の小谷さん

### 年間スケジュール

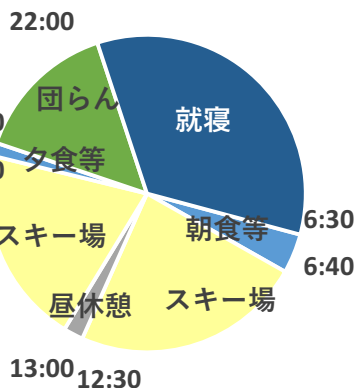
種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
大根						畝立て・播種			収穫			
白ネギ	収穫				定植	土寄	土寄		土寄		収穫	

### 小谷さんの一日

#### < 農繁期 >



#### < 農閑期 >



### 農業をめざす皆さんへのメッセージ

農業は頑張った分、成果が出るので、やりがいがあります。皆さんが考えているほど、農業は甘くはない。相当な覚悟を持って就農して欲しい。農作業は大変だし、儲かるのはもっと大変。

まえたしゅうさく

# 前田修作さん

～効率性・品質向上 重視！地域の特性に合った白ネギ栽培の確立へ～

## 経営体の概要

白ねぎ(夏)：20 a、(秋冬)：40 a、(春)：10 a  
労働力：1人(本人)



## 経緯・背景

学生の頃から農業に興味を持ち、「いつか独立して就農したい」と思っていました。就職後は農業オペレーターや農業に関わる仕事を経験し、自分なりに準備をしてきました。家族や周りからの応援もあり、研修制度を利用し念願の就農をすることができました。



作業効率アップのためネギ用溝切機(作業機)を導入

## 経営のポイント

基本的に1人経営なので、効率性や品質向上を重視し、工夫し考えながら日々作業に取り組んでいます。中山間地域のため気象条件に左右されることも多く、圃場の特性や天候の特徴を考えながら作業計画を立てています。

## 今後の目標

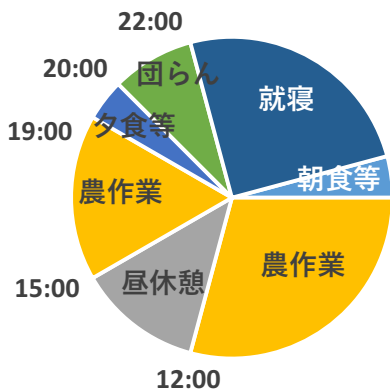
将来的には規模拡大を考えており、雇用や農地の確保を実現したいです。地元の方はもちろん、県外の皆さんにも食べてもらえるような、おいしい白ねぎを作りたいです。

## 年間スケジュール

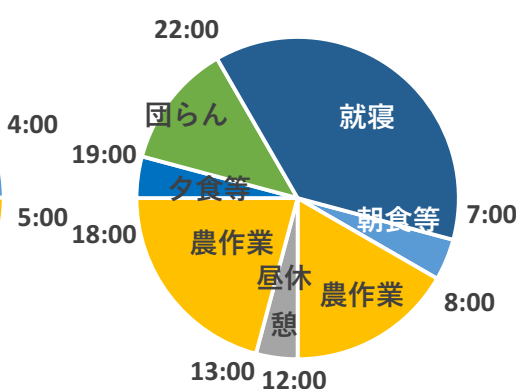
種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
夏ねぎ	播種・育苗		定植	追肥・土寄せ・防除			収穫					
秋冬ねぎ	収穫	播種・育苗		定植	追肥・土寄せ・防除				収穫			
春ねぎ			収穫	播種・育苗	定植	追肥・土寄せ・防除						

## 前田さんの一日

< 農繁期 >



< 農閑期 >



## 農業を目指す

### 皆さんへメッセージ

農業は体が資本とよく言われますがメンタルが試されることも多いです。実際に経営者になるため、具体的な就農イメージを持ったり自分に厳しく向き合っていくことも時には大切になってくると思います。それができれば楽しい農業が待っていると思います。

# 加藤靖広さん

【営農類型：果樹（梨）】

## ～地域の繋がりと 経営発展～

### 経営体の概要

- ・ 梨：83 a  
(ハウス20世紀28a、豊水25a、  
新甘泉18a、王秋9a、その他3a)
- ・ 労働力：2人(本人+家族)



### ■経緯・背景

平成28年に梨農家であった父が営農継続困難となったことを契機に当時勤めていた会社を退職し、梨経営を開始しました。

地域の若手梨農家が集まる「八頭果樹新規就農者研究会」の活動に積極的に参加し、現在は生産部の役員も務めています。

### ■経営のポイント

早生梨から晩生梨までバランス良く構成しており、収益率の高い新甘泉、王秋をジョイント仕立てで導入し、収益向上、作業省力を図っています。

### ■今後の目標

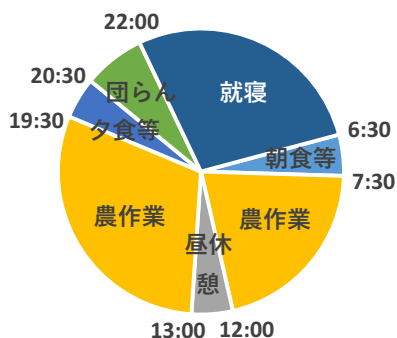
地域との繋がりを意識した営農を行いながら、収益向上・作業省力化等に努め、農業経営の発展を目指します。

### 年間スケジュール

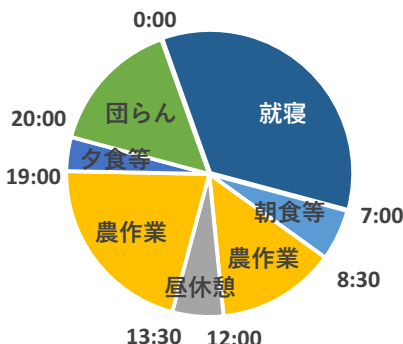
種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
梨	剪定		花採り	交配	摘果	袋かけ	新梢管理		収穫			剪定

### 加藤さんの一日

#### < 農繁期 >



#### < 農閑期 >



### 農業をめざす皆さんへ メッセージ

梨は1年間に1回しか収穫できる期間はありませんが、その分、達成感ややりがいを感じます。ぜひ一緒に楽しく梨を作りましょう！

～自分が成功すれば、新規就農が増える・柿産地が発展する～

経営体の概要

- 経営面積：柿(「輝太郎」「花御所」他 178a)、水稻120a、梅10a
- 労働力：1人(本人)、臨時雇用5～8人



経緯・背景

100年続く柿農家の4代目として生まれ育ち、20代までは農家を継ぐことは考えていなかったが、祖父母が栽培する柿園を守りたいと思うようになり、柿を主体とした経営を30歳から開始しました。

経営のポイント

特産の「こおげ花御所柿」や「輝太郎柿」等を、有機質肥料主体で育て、最も美味しい時期に収穫し、PRも積極的に行って、首都圏等への高値販売にも取り組んでいます。

地域の栽培をやめる柿園や耕作放棄地を借りたり、柿を新植して面積と生産量の拡大に取り組んでいます。

今後の目標

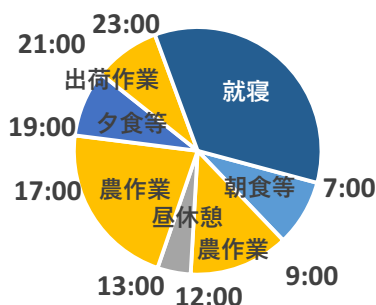
柿栽培の成功者となって、柿産地を守っていくことと、後に続く新規就農者を増やしていきたい。常に楽しく農業をすることを忘れないようにしています。

年間

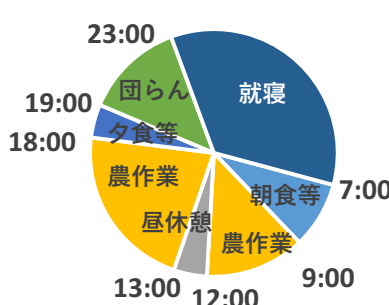
種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
柿	剪定				摘蕾	摘果	仕上げ摘果			収穫		
水稻				耕起・代かき・田植		水管理・除草			刈取			

岡崎さんの一日

< 農繁期 >



< 農閑期 >



農業をめざす皆さんへ  
メッセージ

どう農業を楽しくできるかを考えて、5年、10年後の目標を立て、気合を入れて頑張ってください！！農業はしんどい、きたないではないですよ。



～同年齢のサラリーマン以上に  
儲かる農業をめざして～

### 経営体の概要

- 経営面積：梨(「新甘泉」「王秋」等 89a)、柿(「輝太郎」 14a)
- 労働力：1.5人(本人+家族)

### 経緯・背景

県立農業大学校で果樹の基礎を学んだ後、4年間農協に勤めたが、果樹栽培は収益が上がると感じ、親の経営に入るのではなく、平成31年に独立して就農しました。

### 経営のポイント

果樹栽培では、苗を植えて十分な果実の収穫ができる樹に育つまでに何年もかかります。そのため、梨園25aと柿園10aを借りて農業を開始しました。

新技術のジョイント仕立て（隣の樹とつなげて1列にする方法）で梨を64a植栽し、育成期間の短縮と農作業の省力化に取り組んでいます。

柿も4a植栽し、早期に収穫量が上がる密植栽培に取り組んでいます。

### 今後の目標

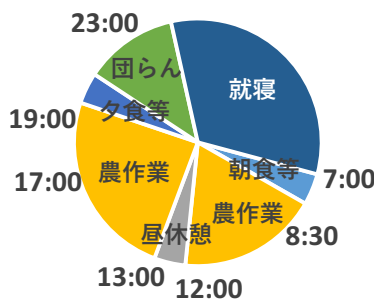
就農後に植栽した梨や柿を早期に育成して収穫量を上げ、同年齢のサラリーマン以上に儲かる農業経営を目指していきます。

### 年間スケジュール

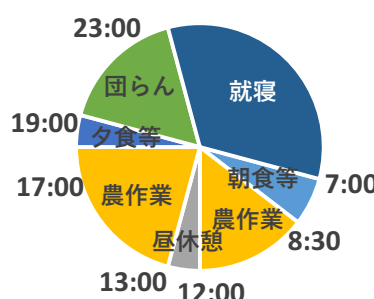
種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
梨	剪定			交配	摘果	袋かけ	枝管理		収穫		収穫	
柿		剪定				摘蕾・摘果	仕上げ摘果			収穫		

### 丸山さんの一日

#### <農繁期>



#### <農閑期>



### 農業をめざす皆さんへメッセージ

農業経営とは自分との闘いです。コツコツと努力する必要がありますが、しっかりと経営計画を立て、周囲のアドバイスを聞けば難しくありません。一緒に農業を盛り上げていきましょう。

# 古谷浩平さん・葉子さん

～様々な人や環境に繋がる  
農業をめざして～

## 経営体の概要

- 経営面積：ブドウ(35a)、白ネギ(30a)、  
水稻(10a)、その他(20a)
- 労働力：2人(夫婦)



## 経緯・背景

以前勤めていた会社で、専業農家と関わる機会が多かったこともあり、農業にあこがれて就農を決意。鳥取県に移住し、平成24年に営農開始しました(夫婦では平成27年から)。



自宅前の直売所

## 経営のポイント

主にブドウと白ネギの栽培に力を入れており、消費者とのつながりを重視して対面販売も取り組んでいます。特にブドウはシャインマスカットやピオーネをはじめ20品種と取扱が多く、生食だけでなくドライフルーツの製造販売も行い、商品化の創意工夫をしています。

## 今後の目標

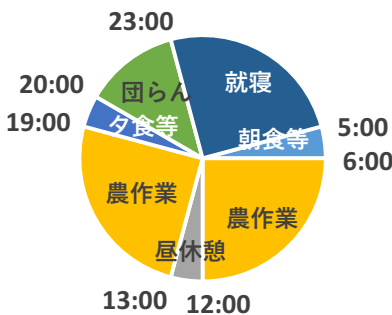
現在、地域の畜産農家の堆肥や竹チップ等の有機質肥料を試験的に使用しており、循環型農業を目指していきます。

## 年間スケジュール

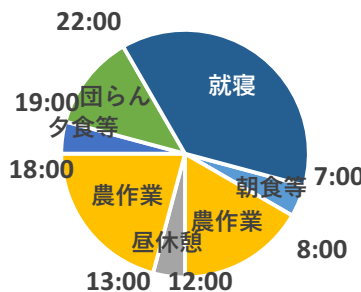
種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ブドウ	剪定/加工				花穂整形	摘粒	袋かけ		収穫			剪定/加工
白ネギ	収穫		播種	定植							収穫	

## 古谷さんの一日

### < 農繁期 >



### < 農閑期 >



## 農業をめざす皆さんへ メッセージ

農業をやっていくには体力、技術、情熱が必要です。これらすべてをフル活用し、継続し続ける覚悟をもって立派な経営者になってください。



よしだ あつし かおり  
吉田篤史さん・香織さん

～豚一筋！地域と繋がる  
ブランドをめざして～

経営体の概要

- ・母豚50頭一貫
- ・食肉加工販売
- ・労働力：3人(夫婦+家族)



経緯・背景

香織さんの実家は昭和40年代より養豚業を営んでいました。結婚を機に平成14年に夫婦揃って就農。同時期に精肉加工販売も開始し、農場直営の「こだわりポークのお店オンリーBoo」を開店しました。



直営のお店「オンリーBoo」

経営のポイント

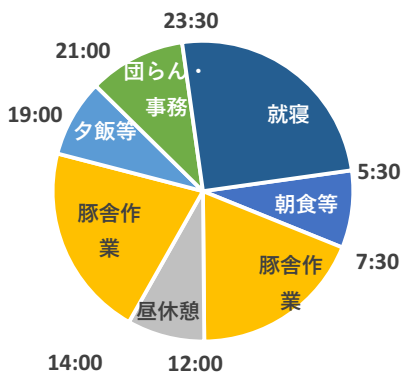
純植物性のエサと自然豊かな地元の水で育てた豚のうち、より肉質が細やかで良質な生後6ヶ月前後の雌の豚のみを厳選した「ナチュラルポーク」を生産。また地元で農場と加工の食育体験活動を受け入れるなど地域と繋がる活動も行っています。

今後の目標

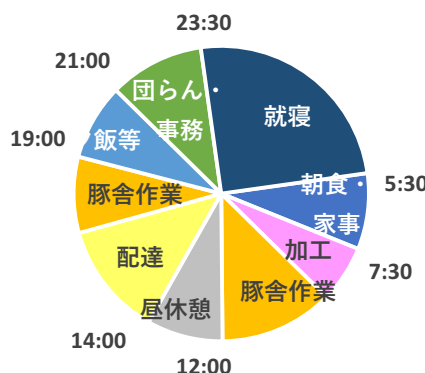
さらに工夫をして作業効率化し、時間にゆとりをもって作業をしたい。また、地域に貢献できるように地元産の物を使って豚を育てたいです。

1日のスケジュール

篤史さん



香織さん



農業をめざす皆さん  
へメッセージ

養豚の仕事はとてものやりがいがあり、自分なりに工夫して仕事ができます。どのように豚を育てるのは自分次第。そのためにも可能な限り手を抜かないこと！

～地域や仲間との  
繋がりを大切に～

## 経営体の概要

繁殖雌牛：16頭

水田：2.6ha

労働力：1人(本人)



## 経緯・背景

水稻中心の営農をしていた父が亡くなり、その後を継ぎました。元々、水稻だけでなく畜産業にも携わりたい思いが強かったので、交雑種を導入し、和牛受精卵を活用した畜産業を新たに始めました。



稲刈り作業中の藤原さん

## 経営のポイント

農作業はすべて1人で行っているため、機械の大型化などで作業の効率をあげています。令和2年には休耕田活用組合を立ち上げ、休耕田を活用して自給飼料を作付することで、生産コストの低減を図っています。

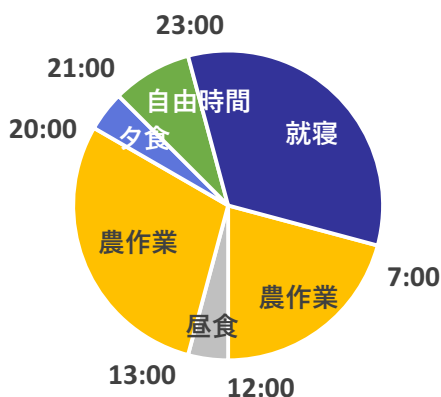
## 今後の目標

一人のできる事は限られています。そのため、様々な人との関わりがとても大事だと考えています。地域や仲間との繋がりを大事にしながら、地域に根付いた経営をしていきたいです。

## 年間スケジュール

種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
畜産	飼養管理											
	牧草播種・収穫											
米			播種・育苗	田植	水管理・防除・畔草刈り			収穫				

## 藤原さんの一日



## 農業をめざす皆さん へのメッセージ

どのような農業をしたいのか、できる限り具体的な計画をたてることが必須です。

一人のできる事は少ないので、繋がりを大事にしてください。